

まちづくり活動提案書

（ 地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門 ）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団体名	家具転倒防止ボラ緑		
提案名	緑区民ぐるみで家具転倒防止を行い防災・減災の街づくり		
提案活動を行う地域	緑区全域		
提案の背景	(活動を提案するに至る問題・課題などの背景を、簡潔にご記入ください。) ・東海地震が発生した場合、緑区は震度7の大地震が想定されている。 ・阪神淡路大震災では、死因の約9割が住宅建物等の倒壊であった。 ・名古屋市の調査では家具固定率が約5割と地震の備えが不十分である		
提案活動の目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください) ■目的 区民ぐるみの家具固定の取り組みにより、安心・安全なまちをつくる ■目標 自力で取り付けが困難な50世帯の高齢者等宅の家具固定をめざす。 ■成果 巨大地震に備え、家具の転倒による防災・減災を図る。		
提案の内容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) (活動A) 家具固定のスキル習得 15名の会員が、わがやネット家具転防隊指導のもと15世帯の家庭の家具固定の実践研修を行い、名古屋市から認定証を受けた。 (活動B) 家具固定活動の事前準備 円滑な活動を推進する為、規約、活動計画、活動予算、家具固定活動の連絡網・連絡方法、帳表類の作成、その他活動に関するマニュアルを作成した。 (活動C) 必要な部材調達 家具固定に関する初期に必要な資材を調査し調達する。 (活動D) 年50世帯の家具固定を行う。 今回の活動をキッカケに、地域ぐるみの防災・減災の気運が高まり高齢者世帯を含めて「安全・安心」なまちづくりにつながる。 (活動E) 年6回定例会の開催 会員全員が集まり、家具固定の事例発表、問題点の抽出&解決策を協議する。 (活動F) 家具固定技術の習得 社団法人わがやネットが開催する、家具固定研究会に月1回参加して家具固定のスキルUPを継続して図る。		
活動期間	平成28年5月～ 平成29年3月	助成金交付申請額	5万円

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災では、死因の約9割が住宅建物・家具などの転倒であった。 ・家具固定活動は、地域ぐるみで取り組みことが防災・減災に必要で安心・安全な地域づくりに重要である。 ・南海トラフの巨大地震の被害想定が公表されているが、名古屋市の子家庭の家具固定率は50%と地震の備えが不十分である。 ・緑区では65歳以上の高齢者が21%に上り、自力で家具固定を行うことができない世帯が多い。 ・家具固定の金物はホームセンターで販売しているが、自力で固定出来ない世帯は、大工等に依頼する必要がある施工費が高く、家具固定率の低調の要因の1つである。 	
<p>審査基準② 独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具固定のノウハウを有する、わがやネット指導のもと、会員15名が15世帯の家具固定を依頼されるご家庭に出向き実践研修をし、家具固定のスキルを身につけた。 ・緑区在住の会員が緑区のお宅にお邪魔して、地域密着の家具固定活動を展開する。防災・減災活動は地域ぐるみで行うことが重要である。 ・家具固定のスキルUPとして、2か月に1回施工事例の紹介&わがやネットの家具固定勉強会に月1回参加する。 	
<p>審査基準③ 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己資金については、さくら不動産株式会社など地域で営業されている会社から、本活動に賛同してもらい、協賛金をいただくこととなっている。 ・家具固定に必要な工具類の大部分は、緑消防署から借用することとなっている。 ・会議の場所は緑区役所の会議室を借用することとなっている。 ・「家具転倒防止ボラ緑」5月設立に向けて、昨年9月から会員15名の事前スキル研修、及び運営マニュアル、役割分担、必要な工具・資材の調査等の準備をしてきた。 ・提案内容は前掲の活動A～Fの手順で具体的に準備が整い、2月に1回の反省会を開催し問題点を整理して解決していく。 	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の活動をキッカケに、地域ぐるみの防災・減災の気運が高まれば、高齢者世帯も含め安心・安全な街づくりにつながる。 ・今後、会員数を増やし、年間の家具固定世帯を倍増させていく。 ・本活動を通じて、リタイヤ後の高齢者の社会貢献・活躍の場を提供していく。 	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p> <p>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p>	
記入なし	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
1. 名古屋市緑区役所総務課	1. 4/19 家具固定の利用者募集
2. 名古屋市消防局・緑消防署	2. 4/19 家具固定工具の貸し出し等
3. 緑区在住の協賛企業	3. 5千円程度の協賛金の募集
4. みどり災害ボランティアネットワーク	4. 4/19 本会の組織運営のアドバイス

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。